



「まーちゃん」の日記

- 平成20年度
ポットパイの整備(3室)
川の再生・見沼用水東線整備
- 平成21年度
業務委託入札制度の改善
意欲ある農業経営者への支援
高校中退者への支援
- 平成22年度
埼玉農産物にヒット商品を
生産と消費者が近い好い地農業
- 平成23年度
基金10億円創設
高い志の若者の海外留学支援
芝川遊歩道整備
- 平成24年度
学校のいじめ対策
いじめに立ち向かう人づくり
- 平成25年度
米国から花水木
米国政府からの花水木贈呈を交渉
52本を埼玉県・さいたま市に頂く
- 平成26年度
がん緩和ケア病棟新設
市立病院の建て替えに合わせて
がん緩和ケア病棟設置決定
- 平成27年度
大学病院誘致
順天堂大学附属病院・医学部
県の高度医療拠点と地域環境開発
- 平成28年度
旧教育センター跡地活用
一般先知されることなく地域活用
防災公園として整備される
- 平成29年度
旧三宅教職員住宅跡地の利活用
地域環境を考慮した利活用へ
県立高校のフリースペースとして整備

医療・教育・福祉・安全・交通と多岐にわたるテーマに「地域の声を県政に」をモットーに埼玉の未来を見据え日々活動してきました。地域の皆様はじめ多くの方々の協力を仰ぎ実現した政策です。

高橋まさお

高橋まさお 県議活動 三期における

PROFILE
TAKAHASHI MASAO

●生い立ち
昭和27年11月1日浦和市中尾2女2男の末っ子として出生(現、さいたま市緑区)
原山幼稚園・尾間小学校
東浦和中学校・浦和南高校を経て
中央工学校建築科卒

●資格
一般建築士
宅地建物取引士

●活動履歴
小学校PTA会長・市P連会長
自治会長・消防団員
商店会長・社会教育委員
女性政策推進協議会委員
行政改革推進懇話会委員
埼玉県信用保証協合理事
県農業会議議員
うらぬま馬場協議会委員
県職業能力開発協議会委員
県国土利用計画審議会委員
都市計画審議会委員

●議会活動
第125代副議長

生前の正成(次男)



菜美絵(長女)
兄と共に、父をサポートしています。

高橋まさお
地域のために、汗を流しています。

直子(妻)
黒子役の妻であり、母です。

佑輔(長男)
汗を流して働いています。

これまで、家族の協力を受けながら県政活動に励んでまいりました。常に家族の幸せが政治の原点だと確信しています。昨年、その家族のひとり正成(大学生)を突然失いました。今、姿は見えませんが心は一つ、家族として共に生きてまいります。そして、次世代を担う子供たちの未来を考え、数多くの皆様とコミュニケーションを取りながら、大好きな緑区で家族と地域の皆様と生活してまいります。

地域への尊敬に

埼玉県議会議員 **高橋まさお**

高橋まさお



私たちの住む「緑区」、大好きな「緑区」、誇れる「緑区」

地域の声を県政に 子供たちの未来のために

医療・交通・防災のビッグプロジェクトを実現
東京オリンピック・パラリンピック成功への参画
そして、すべてはこれからを担う子供たちのために

高橋まさおが取組む「6つのプロジェクト」

① 順天堂大学附属病院建設着工へ **実現** 地域の皆様の医療サービス向上のために

高橋まさおは、以前から地域の皆様の強い要望である、「医療サービス体制整備」のための大学病院県内誘致活動を継続してきました。長年の活動が実を結び、新病院&新看護学部&新大学院の着工が来年から始まります。先進的な医療サービスの提供をはじめ、医療人材の育成と、地域の医療機関との連携が実現します。



② さいたま市立病院開院へ **完成** 地域の皆様の安心のために

高橋まさおは、10年前から老朽化した市立病院の建て替えと、がん緩和ケア病棟の新設を強く要望し続け実現しました。その結果、建て替えと新病棟の設置が決定し現在建設中です。完成は来年1月を予定しています。新たな市立病院は、埼玉県災害拠点病院として、また、がん診療連携拠点病院として、地域の皆様に安心・安全をお届けできると確信しています。



③ 新見沼大橋無料化へ **前進** 地域の皆様の負担軽減のために

首都圏最大の緑地空間、見沼たんぼを通る「新見沼大橋」は、建設資金108億円を投入し、4年の歳月をかけ完成したものです。1996年の開通以来有料道路として、渋滞の解消や、緑区東西の幹線道路として機能しています。現在は、埼玉県道路公社が維持管理していますが、2026年11月にさいたま市に移管され無料化される予定です。高橋まさおは、無料化実現に前進してきました。



④ 東京オリンピック・パラリンピック成功へ **創造** 県民で創るSAITAMA PRIDEを目指して

2020年に迫った東京オリンピック・パラリンピック。埼玉県は「SAITAMA PRIDE」を掲げ、オール埼玉による取組、スポーツを通じたレガシーの創出を目指しています。4つの競技種目が県内で開催されます。地元緑区の埼玉スタジアム2002では、サッカー開催です。高橋まさおは、埼玉県推進委員会の一員として、成功へのプロセスを創造していきます。



⑤ 防災公園整備 (旧教育センター跡地) **計画** 地域の皆様の安全を目指して

緑区三室の旧埼玉県教育センターは1967年に開所しました。2011年にセンターが移転したことにより、その跡地利用について、高橋まさおは、県に対して防災公園への転用を要望してきました。東京ドームのグラウンドより広い約14,000㎡の敷地を、一般売却をせず、さいたま市に移管のうえ、地域の皆様の安心・安全につなげるために計画を立て実行しています。



⑥ 東西交通ルート開設 **推進** 次世代、地域の皆様の便利・快適を目指して

首都高速道路の第2産業道路から緑区東部への延伸。そして、浦和美園駅から大宮駅や新都心駅等への鉄道「東西交通ルート」の整備を提言しています。東西交通ルートの開設は、緑区の発展に大きく寄与するものです。高橋まさおは、次世代の地域の皆様が便利に快適な生活が送れる夢の実現を推進していきます。

